



# 希望のぞみを届けます



発行者  
日本共産党岡山市議団

〒700-0913  
岡山市北区大供 1-1-1  
TEL 086-803-1707  
FAX 086-234-9388

いのちと暮らしを守ります!

## 田中のぞみ市政ニュース

Vol.52  
2012年6月議会

### 6月議会

## 幼保一体化素案は出し直しに 統廃合・民営化ありきに批判

岡山市6月定例議会に「岡山市の就学前教育・保育のあり方について（素案）」が示されました。

中身は、「幼稚園と保育園の一体化施設を学区に一つ整備し、その他の公立園は統廃合・民営化する」ものです。本会議、保健福祉委員会の議論で、当局も「内容が不十分との指摘がある」と認め、素案は出し直しとなりました。主な問題は次の5点です。

#### ① 保育児の対策になっていない

保育児は常時500人前後います。幼保一体施設には3歳未満児の入園が義務付けられないとのこと。保育児は3歳未満児がほとんどです。

#### ② 国の「子ども・子育て新システム」に沿った内容です

国の動きは非常に流動的で、与野党から多くの問題点が指摘されています。拙速な動きは混乱を招くだけです。

#### ③ 市民のニーズにこたえていない

市民アンケートでは、

#### ★新設保育園の入園申し込みが始まります。

- 受付期間：7月18日～8月2日
- (詳細は、各福祉事務所まで。)
- ・ならの木保育園(中仙道) …10月1日開園
- ・第二宝島保育園(下中野) …11月1日開園

#### ★今年度は、既存園の増築等で180名の保育園定員増を計画しています。



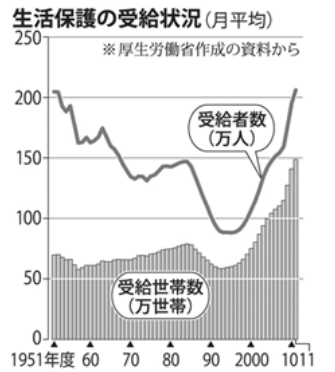
「公立と私立の違いは無い」との答弁にもかかわらず、統廃合・民営化を進めるのは、子どもの育ち支援へのコスト削減にほかなりません。

#### ④ 現場の声が反映されていない

保育現場、教育現場や保護者の意見が反映されていないとの指摘があります。

#### ⑤ 現場の声が反映されて

保育現場、教育現場や保護者の意見が反映されていないとの指摘があります。



生活保護行政  
ケースワーカー増やして  
有名家族の生活保護  
受給問題で、生活保護のあり方がクローズアップされています。  
大切なのは、受給基準を厳しくすることでなく、自立を支援する体制を強化することです。そのためにも、一人で100人近く担当している岡山市のケースワーカーを国基準並みに増やすことが求められます。  
いわゆる不正受給は全体のわずか1.8%です。また、生活保護受給率が増加に転じたのは1997年ごろで(右図参照)、消費税が3%から5%に上がった頃です。景気の悪化、非正規雇用の増大、高齢化などが影響しているといえます。2008年のリーマンショック以降は、就労可能な单身世帯が急激に増えました。貧困と格差の広がり、時の政治や政策の結果ではないでしょうか。



## 第二子が生まれました。

6月18日に女児が生まれました。この世に唯一の存在として、自分を大切にしたい、そして他人を大切に出来る人になってほしいと願い、唯一の花・香をイメージして「ゆいか」と名づけました。

一男一女の母としても、子どもたちが、生まれてきてよかったと思える社会の実現に向け、一層がんばってまいります。

6月議会はやむなく欠席しましたが、9月議会での復帰を目指します。



# 議会改革

## 一問一答試行

議会改革の一環として、一問一答形式が今議会で初めて試行されました。

これまでの一括質問、一括答弁と比べて、議員と市当局が交互に応答するため、傍聴者からも「分かりやすかった」、「質問が深まった」と好評でした。

日本共産党市議団からは、河田正一団長が産廃処分場の認可について、岡山市の審査の甘さを追及しました。今回は、各党派5人につき一人と質問者が制限されたので、今後は希望者全員が一問

一答形式を選択できるように求めます。

**河田** 「なぜ現場と全く違う図面で市は認可したのか」

**当局** 「当時は崩落事故の認識が無かった」

**河田** 「いい加減な図面を用いるのがおかしい」

**当局** 「出されたものはそのまま処理した」

**河田** 「現場は確認しなかったのか」

**当局** 「やれることはやっていた」

通常3回しか出来ない質問が、28回に及び、箕島産廃処分場の2期工事の認可がいかにもいい加減かということを示しました。

## 岡山市の財政状況 2011年度も黒字見込み

岡山市の2011年度決算見込みで実質収支が約80億円の黒字となることが分かりました。10年度の約100億円に続いて過去10年間で2番目の黒字額となります。

今年度予算では、基金(積立金)の取り崩し無しに編成することができています。

日本共産党市議団は、

職員採用凍結など市民サービスを削って出来た黒字は、市民の福祉に還元するよう引き続き求めます。100億円を投じようとした林原跡地へのコンベンション施設建設は、今議会でも市長が意欲を示しましたが、7月に入り現所有者のイオンモールより正式に断られています。

## 日本共産党市議団 返還額はゼロ

### 政務調査費判決

市民オンブズマンおみやまが、岡山市を相手に2007年度分の政務調査費のうち約2900万の返還を求めた裁判で、岡山地裁が判決を出しました。

日本共産党市議団は、352万円あまりの返還を求められていましたが、判決で返還を命じられた額は0円でした。政務調査費は議員ひとりあたり月13万円支給されています。

会派名*当時	政務調査費支出額	オンブズマンが返還請求するよう求めた額	地裁が返還請求するよう市長に命じた額
新風会	16,670,882	6,803,737	1,031,495
公明党岡山市議団	12,238,363	3,809,125	193,847
ゆうあいクラブ	12,577,395	5,587,808	2,021,975
政隆会	11,202,675	6,043,607	956,351
市民ネット	10,570,762	3,596,101	308,544
日本共産党岡山市議団	7,428,329	3,520,971	0
合計	70,733,406	29,361,349	4,512,212

(単位円)

## 陳情・請願の結果

- \* 冤罪防止や供述調書の信用性を高めるため取調べの全過程の録画を求める意見書が賛成多数で採択されました。
- \* がん患者の経済的負担軽減を求める請願が全会一致で採択されました。リンパ浮腫の治療を保険対象とすること、装具購入についての配慮を国に求める意見書を提出しました。

請願	速やかな取調べの可視化の実現を推進する意見書の提出について	採択
請願	リンパ浮腫治療患者に対する経済的負担軽減に関する意見書の提出について	採択
陳情	東日本大震災災害廃棄物の広域処理について	不採択
陳情	岡山市の就学前教育・保育の在り方について(素案)の撤回について	不採択

## 震災がれき 受け入れ基準が不十分

震災がれきの受け入れについて、今議会でも何度が取り上げられました。岡山市当局は、「受け入れを検討する段階に無い」と答弁しました。

① 8000ベクレルという国の安全基準は、福島原発事故前の100ベクレルという基準に比べはるかに高く国民の不信感がぬぐえていないこと、また実態ともかけ離れていること、  
② 焼却灰の資源化や最終

処分について国が充分な対応を示していないこと、  
などから広域処理の必要性は認めつつも、現段階での受け入れは基準不十分と見て、反対しました。

### ★防災キャンプ実施

防災教育の取り組みとして、小学生を対象に市内9箇所です防災キャンプ事業を実施します。

北区で取り組む地域・・・御津公民館、岡輝公民館、津高公民館、北公民館、吉備公民館

(詳細は各公民館にお問い合わせください)

### ★歯と口腔の健康づくり条例(案)が議員発議でできました。

パブリックコメントを募集します。

7/18~8/17 (詳細は議会事務局まで TEL803-1528)

### ★岡山市教育基本振興計画(骨子案)のパブリックコメントを募集しています。

6/18~7/20 (詳細は教育委員会まで TEL803-1571)



## \*\* 9月議会予定 \*\*

9月4日	9月議会開会
9月11日	代表質問
9月13日から ~21日まで	個人質問
9月27日	閉会